



ろまん 城西浪漫館

大正6年(1917)に建てられた中島病院の旧本館。バルコニー形式の玄関とドーム型の屋根が優雅な大正ロマンを感じさせてくれます。

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

住所 田町122

電話 22-8688

併設のカフェ「So's cafe」では、江戸時代の味を再現した「榕菴珈琲」が味わえるんですよ

So's cafe
営業時間
8:30~16:00



ろ 徳守神社

慶長9年(1604)、初代津山藩主森忠政が、城下町建設に先立ち、津山城下町の総鎮守として造営し、今に伝わります。

住所 宮脇町5

秋の大祭は、津山まつりの一つとして、にぎわいます。今年、10月26日(日)に行われます。



城西地区ガイドマップ



特集

観光ボランティアガイドと巡る

城西地区歴史探訪

津山の古いまち並みが残る城西地区。特に、江戸時代の寺町の風情と、明治から昭和初期にかけて津山の玄関口として栄えた面影を今に残すまち並みは、どこか懐かしさを感じます。そんなまち並みを観光ボランティアガイドと一緒に巡ってみましょう。

城西地区の歴史

城西地区は、津山城下の西の玄関口として出雲街道沿いに栄えた町です。江戸時代に、吉井川に高瀬舟の船着き場ができ、商業地として発展しました。また、城を守る防護線として数多くの寺院が建立され、独特の風情が感じられる景観が形成されています。明治時代、物流の手段が高瀬舟から鉄道に移り変わると、津山駅(現在の津山口駅)ができ、津山の人と物流の玄関口として発展していきます。そして、大正・昭和初期にかけては、手作りの工業品を作る工場や商店が軒を連ね、大変にぎわいました。

津山観光
ボランティアガイドの会
阪井幸弘さん

